

助け合いは相手の立場になって考えることが重要

羽鳥さんは、11月5日に行われた猿払村少年の主張大会（オンライン開催）で、日常生活を通じて感じたことや思ったことを発表し、最優秀賞を受賞しました。

主張した内容

羽鳥さんが主張したテーマは「助け合い」です。小学2年生の頃に、自分が乗っていたバスに車いすの人が乗ってきました。運転手さんの協力もありましたが、乗るまでにはスロープを使ったり、専用器具で車いすを固定したりと時間がかかったので、「遅いな」と思っていました。そんな考えを変えたいきっかけが二つありました。一つ目は、小学5年生の頃に、授業で初めて車いす

に乗った時。腕は疲れるし、机の間は通れないことを体験し、初めて車いすの大変さに気づきます。

二つ目は、道徳の学習の中で、黒柳徹子さんのボランティア活動について知った時。体の不自由な方のために活動する姿が素敵だと思いい、自分もたくさんの人に優しくして喜ばせたいと思うようになりました。

この二つのできごとを通して、「遅い」と思っていたことを恥ずかしく思いました。自分が車いすの人の立場だったら、「早くしないと」と焦ってしまうので、当事者の気持ちを考えて、周りが温かく見守ったり、手伝ったりするべきだと思いました。

これからは、体の不自由な人はもちろんですが、それに限らずに「困っている人がいたら、どんなに小さなことでも助けてあげたい」「誰にでも優しく親切に接する心を持つために」「ボランティア活動をしてみたい」と思うようになりました。

助け合いは、相手の立場になってみて考えることが何より重要です。皆さんも助け合いについて考えてみて下さいと呼びかけました。

羽鳥さんへインタビュー

—この主張を聞いた人にとって、どんなことを感じてほしいかな—
今は、新型コロナウイルスの関わりもあるので、より、相手を思いやるのが大事だと感じてほしいです。



羽鳥 杏実さん

浅茅野小学校6年生。児童会長。最近編み物にハマっていて、ヘアバンドや帽子を作っている。クリスマスに家族にプレゼント予定。

—最近行ったボランティア

自治会の交流センターを全校児童で掃除しました。協力もできたと、感謝もされて嬉しかったです。

—大会で気を付けたこと

内容を覚えて、なるべく作文用紙を見ず、カメラを見るようにしました。また、一番伝えたいところは声を大きくするなど強弱をつける工夫をしました。

時事雑感

雪がチラホラと降り始め、本格的な冬が到来しようとしています。さて、冬といえば『鍋』ですね。ご家庭によって入れる具材や味付けなど様々だと思います。私が一番好きな鍋は、なんと言っても『みぞれ鍋』。我が家のみぞれ鍋は、大根おろしたつぷりと鳥肉団子がふんだんに入っており、長ネギや水菜などの野菜もたくさん入っています。ところで、みなさんは、鍋を食べる時に白米を食べる派で

すか？それとも食べない派ですか？ちなみに私は、鍋もおかずとしてお米を食べる派です。取り分けた鍋を熱々のうちに口へ運び白米を頬張る。たまらないです。現在、村の施設園芸栽培事業で、冬の鍋にぴったりの「春菊や水菜」などを育てています。Qマート猿払店でも販売していますので、ぜひみなさん一度ご賞味いただけると嬉しいです。猿払村の寒い冬をさるふつ産野菜でいっぱい熱々な鍋を食べて乗り切りましょう！ [K]